

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：水環境課  
 担当名：浄化槽・川の国応援団担当  
 内線：3083 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B30	豊かな川を育む浄化槽台帳デジタル化推進事業費		一般会計	総務費	環境費	公害対策費	浄化槽対策費	
事業期間	令和 3年度	根拠法令	浄化槽法		宣言項目		SDGsゴール	6, 14, 15, 17
					分野施策	051143 公害のない安全な地域環境の確保	SDGsターゲット	6-2, 6-3, 6-6, 14-1
1 事業概要			5 事業説明					
<p>SDGsの実現に向け、合併浄化槽への転換と浄化槽の適正な維持管理を促進し、未処理の排水を削減することにより、河川の水質を改善するとともに海洋汚染を防止する。</p> <p>維持管理者等と連携して清掃等の情報を浄化槽台帳に集約し、転換や法定検査受検の指導の効果的・効率的な実施を通じ、公共用水域の水質改善を図る。</p> <p>(1) 維持管理情報自動集約システムの整備 20,000千円                      (2) 台帳の質を確保する体制整備 5,500千円                      (3) 浄化槽台帳システムの運用 3,952千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 維持管理情報自動集約システムの整備 20,000千円                      保守点検業者約500社、清掃業者約200社、指定検査機関2社のデジタル化を支援し、県内約48万基の浄化槽の維持管理情報を自動的に収集するシステムを整備する。                      また、収集した維持管理情報を正確に浄化槽台帳に反映させるための情報変換・突合ルールを確立する。</p> <p>イ 台帳の質を確保する体制整備 5,500千円                      維持管理情報のデジタル化を進める一方、設置や建築確認申請は紙により行われている。これらの紙情報を電子化するとともに、自動集約された維持管理情報と正確に対応させた上で、台帳システムに反映する仕組みを構築することにより、継続的に台帳の質を確保できる体制を整備する。</p> <p>ウ 浄化槽台帳システムの運用 3,952千円                      合併処理浄化槽への転換と浄化槽維持管理の適正化を促進するため、地理情報システムを活用した浄化槽台帳(スマート浄化槽台帳システム)の運用を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 改正浄化槽法により、義務化された浄化槽台帳の作成を行う。                      イ 維持管理情報のデジタル化を行い、情報を正確かつ効率的に収集する新たな情報収集体制を構築する。                      ウ 整備された台帳を活用し、転換や法定検査受検の一層の促進を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>転換や法定検査受検の指導を対象者に直接行うことができることから、合併処理浄化槽への転換の促進と法定検査率の向上により、公共用水域の水質改善が図られる。                      また、事業者及び県のデジタル化が進み、両者の業務量の削減が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>法定協議会を通して、浄化槽関係業者や指定検査機関、市町村と連携して台帳整備を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財措置の状況								
普通交付税(単位費用)(区分)衛生費 (細目)生活衛生指導費(細節)廃棄物処理対策費 (積算内容)廃棄物処理対策に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	29,452						9,452	22,200
前年額	7,252						7,252	